

Management Information

連載 会計実務概論「病医院会計のすべて」

第 2 部 病院会計制度概論

第 9 章 損益計算書の内容

収益および費用

9-2 収益および費用の認識・測定の基準

9-2-1 費用収益の計上基準

(1) 現金主義 (承前)

また、別の問題として、固定資産の購入の問題も考えられる。病院では、建物・車両から医療用機械備品まで、多くの固定資産を保有する必要がある。そして、これら資産は長期に使用する目的で保有され、長期にわたって収益の獲得に貢献するものである。もし、現金主義によって、現金の支出で費用が計上されるのならば、固定資産の購入時に支出した金額が全額当期の費用として計上されてしまう。これでは、長期にわたる収益の獲得と適切に対応した費用計上ができず、適切な損益計算がおこなえない。

現在でも、多くの取引が現金でおこなわれており、とくに病院では、収入の多くが現金で支払われていることも予想される。しかし、上記で指摘した問題点のため、現在の経済環境においては、現金主義は適切な損益計算のための費用収益の計上基準とはいえない。

(2) 発生主義

前出の問題点のために、現金主義にかわるものとして考えられた計上基準が発生主義である。発生主義とは、現金の支払いあるいは現金の受取りという客観的な事実があったか否かにかかわらず、当該会計期間中に発生したことが合理的に認識され、かつ測定できる収益および費用を計上するとした基準である。

費用収益対応の原則の項目では、経過勘定項目について述べた。経過勘定項目の各勘定は、現金の支払いあるいは現金の受取りがおこなわれた事実に着目するのではなく、契約の存在によって当期に発生したと合理的に判断できる、あるいは翌期に発生すると合理的に判断できる場合に繰延や見越をおこなう。これはまさに発生主義の適用と考えられよう。

<続く>

(井出健二郎著「病医院会計のすべて」日本医療企画より)

規制改革実施計画
閣議決定！

政府は、規制改革実施計画を閣議決定しました。医療・介護分野では、医療 DX (デジタルトランスフォーメーション) や働き方改革の手法でもあるタスクシェアを積極的に推進していくとしています。

◆医療 DX の基盤整備

- ・オンライン診療、服薬指導の更なる推進
- ・電子処方箋の普及及び医療分野における資格確認、本人確認の円滑化
- ・患者のための医薬品アクセスの円滑化
- ・家庭用医療機器 (スマートウォッチなど) において兆候を検出した疾病名の表示
- ・医療機器などの広告規制の見直し

◆医療 DX を支える医療関係者の専門能力の最大発揮

- ・薬剤師の地域における対人業務の強化 (対物業務の効率化)
- ・医療人材の不足を踏まえたタスクシフト/タスクシェアの推進
- ・地域医療構想調整会議の透明性の向上等
- ・社会保険診療報酬支払基金における審査、支払業務の円滑化
- ・医療現場の負担軽減のための手続きのデジタル化等

◆質の高い医療を支える先端的な医薬品、医療機器の開発の促進

- ・プログラム医療機器 (SaMD) に関する承認審査等の見直し
- ・プログラム医療機器 (SaMD) の開発に関する医療機器製造規制など見直し
- ・創薬等に向けた医療データの利活用の促進
- ・治験の円滑化

◆利用者のケアの充実が図られ専門職が力を発揮できる持続的な介護制度の構築

- ・特定施設 (介護付き有料老人ホーム等) における人員基準の特例的な柔軟化
- ・特別養護老人ホームにおける施設内の医療サービス改善